

第2回中部横断自動車道開通記念リレーシンポジウム ～観光～ 中部横断自動車道でつなぐ地域観光の未来

2022年6月6日開催

2021年8月29日の中部横断自動車道（山梨－静岡間）の開通を記念して、県内の関係企業・団体からパネリストを招き、開通に伴う効果や企業戦略、今後の展望等の意見交換を目的とするシンポジウムを開催しました。第2回は観光をテーマに、県内の観光関連企業による活発な意見交換が行われました。



県内から県外へ、県外から県内へ、観光の動きが活発化！

山梨県内から県外へというアウトバウンドの視点では、中部横断自動車道（山梨・静岡間）の開通により県外への所要時間が大きく短縮され、甲府や峡北地域から、静岡や愛知など県外への旅行がしやすくなったということが挙げられます。県外から山梨県内へというインバウンドの視点では、教育旅行助成金の効果もあり修学旅行が大きく増加しました。中部横断自動車道の開通によるアクセス性の向上に加えて、グリーンゾーン認証制度*などコロナ禍における山梨県独自の取組みもプラスに働いていると言えます。

* グリーンゾーン認証制度：「山梨全体で安心・信頼を提供」することをテーマに、感染症に強い事業環境づくりを後押しする制度



旅行業協会
山梨県旅行業協会
総括理事
半田 初幸氏

高速道路開通を追い風に！地域の魅力を発信する宿泊施設へ！



宿泊業
下部ホテル
代表取締役社長
矢崎 道紀氏



下部ホテルは、武田信玄の隠し湯としても知られ、およそ1200年の歴史を持つ下部温泉に立地しています。近年はグランピングやプライベート打上花火など、様々な取り組みを実施し、幅広い層の方々に来ていただいております。

当ホテルは中部横断自動車道・下部温泉早川ICに近く、開通によりアクセス性が格段に向上したことで、身延山久遠寺、富士川クラフトパーク、本栖湖などの周辺観光地と組み合わせた周遊観光が容易になったという声を多く頂いております。私自身は宿泊業の経営に加えて、地域密着型の旅行会社、南山梨ツアーズや、地域の事業者の方と一緒に観光情報を発信する一般社団法人SZAC南山梨を立ち上げ、峡南地域全体の魅力を知っていただくような取り組みを実施しています。

清里高原に新たな風！修学旅行先としての人気上昇中！

清泉寮は「癒しと再生」をキャッチフレーズに、山梨県北部、峡北地域に位置する清里高原にて宿泊体験や自然体験を提供する施設です。数年前に中部横断自動車道の山梨・長野間が部分開通（佐久小諸JCT～八千穂高原IC）したことで、群馬県や栃木県など北関東のお客さまも清里に来ていただいている実感もございますが、今回の中部横断自動車道の開通後、静岡・愛知・神奈川方面からのお客さまにも大変多く訪れていただいております。

また清泉寮は修学旅行の滞在先として選ばれる機会が増えています。これまで静岡方面から清泉寮へアクセスする道路は国道52号のみでしたが、大雨による通行止めの懸念があることから、修学旅行先として選ばれにくい状況でした。中部横断自動車道が整備されたことで、通行止め等のリスクが軽減されたことが大きな効果といえます。



施設業
清泉寮
営業企画本部長
武川 尚志氏

立ち寄り利用者が大幅増！地域の魅力発信の取組みも拡大中！



道の駅
道の駅 富士川
支配人
居村 一彦氏



道の駅富士川は甲府盆地の南端、峡南地域の玄関である富士川町に立地し、中部横断自動車道の増穂PAが併設された道の駅です。道の駅富士川は日曜朝市をはじめ、イベントを頻繁に実施し、多くのお客さまに好評いただいております。

中部横断自動車道（山梨・静岡間）の開通による恩恵は大変大きく、道の駅富士川に立ち寄りのお客さまが増えたことで、昨年度は過去最高の売り上げを達成しました。

今年4月には、道の駅の周辺地域のことをより知ってもらいたいという思いから、地産地消にこだわったバウムクーヘン工房「ARURA」を設立しました。レンタサイクルの貸出しも実施しており、道の駅を拠点とした地域の魅力発信に取り組んでいます。

開通後の課題：地域資源を活用した“訪れたい”沿線地域づくり

懸念事項：高速道路開通に伴い沿線地域が素通りされてしまう可能性（ストロー効果*）

<p>地域固有の価値の拡充</p> <p>清里のペンションが修学旅行の分宿*先として注目を集めているように、地域が持っている価値を最大限に活用することが重要。（半田）</p>	<p>地域内の施設の競合から協働へ</p> <p>短縮された分の時間を使って滞在してもらうためには地域全体で効果的な情報発信を実施することが重要であり、エリア内の施設が競合から協働へ向かうことが大切。（武川）</p>
<p>地域全体の魅力発信</p> <p>ホテルだけでなく、地域としての魅力を高め、幅広い層に下部温泉をはじめ峡南地域のことを知っていただく機会を提供していくことが重要。（矢崎）</p>	<p>道の駅の情報発信拠点としての役割</p> <p>お客さまに道の駅を拠点として地域に足を運んでもらえるよう、レンタサイクルなどの取組みを継続しながら、情報発信の拠点としての機能を高めることが重要。（居村）</p>

* ストロー効果：交通網の開通により、人や物が大都市などに吸い取られる現象

* 分宿：修学旅行などの団体旅行者が分かれて宿泊する形態。コロナ禍の密の回避方法として注目を集めている。

今後の展望：長坂以北区間の整備等、今後に向けた魅力発信について

<p>道路整備と合わせた観光コンテンツの磨き上げ</p> <p>山梨県は道路インフラ、観光施設など、観光旅行の受け皿として十分に役割を果たしている。今後広域的なPRとエリアの中での周遊観光の連携により、地域の魅力を拡大、発信していくことが重要である。（半田）</p>	<p>多様な連携による地域観光の推進</p> <p>移住者など新たな地域活力の発掘、教育旅行や個人旅行をきっかけとしたリピーター獲得、中部横断自動車道沿線の峡南地域との情報交換等、取組みを実施していきたい。（武川）</p>
<p>人のつながりを生かした魅力発信</p> <p>身延山久遠寺などの歴史文化スポットに加えて、和紙や印章、硯などの伝統工芸品も大きな武器になる。人同士のつながりを生かし、地域全体で魅力発信に取り組みたい。（矢崎）</p>	<p>地域資源のPR機会の拡充</p> <p>中部横断自動車道長坂以北区間の開通で、来訪機会のさらなる増加が期待される。販売しているバウムクーヘン材料の生産地を巡る「富士川の恵みツアー」といった新たな取組みも検討していきたい。（居村）</p>

中部横断自動車道の開通が、地域観光の取組み拡大を後押し



コーディネーター
山梨総合研究所調査研究部長
山梨県立大学特任教授
UTYテレビ山梨「スゴろく」
（水曜コメンテーター）
佐藤 文昭氏

コロナ禍においても、修学旅行先や個人旅行先として山梨県の注目が集まっており、中部横断自動車道（山梨・静岡間）の開通、山梨県の徹底した感染症対策など、様々な要素がプラスに働いているものと思われます。一方で高速道路がつながったことにより、沿線地域が素通りされてしまうことを皆様懸念されていることも確かめられました。観光の目的地となる地域づくりが重要であり、それぞれの施設や地域の方々の取組みをいかに結び付けていくかということが大きな課題だと感じたところです。今後の展望に関する議論では、自然や伝統工芸、その場所の人々のつながりといった地域固有の価値を磨き上げ、発信していくことの重要性が確かめられました。道の駅を地域の情報発信拠点として機能させたり、下部ホテルの矢崎さんのように地域密着型のツアー会社を立ち上げたりと、道路が開通したことのメリットを最大限生かしていけるような取組みが、山梨の魅力づくりにもつながるのではないかと考えています。

リレーシンポジウム 全体の流れ（全4回）

